

専門研修会のご案内

『脳血管疾患の初期対応と治療について』

脳血管疾患は、現在、がん、心疾患・肺炎に次いで日本人の死因第4位となっており、医療の進歩と食生活の改善等で死亡率は減少しています。しかし、他の病気と異なり、一命をとりとめても、しばしば身体の麻痺や言語障害などの後遺症が残ります。また、高齢者に多い病気で、超高齢化の進む日本社会で、今後脳血管疾患の患者数はさらに増加し、介護の負担も増すことが予想されています。

大北地域でも、超高齢化が進んでおり、高血圧や脳塞栓の原因ともなる心房細動を持つ方も多く、脳血管疾患の原因となっている現状が多くみられています。寝たきりや要介護者の40%は脳血管疾患に起因するといわれており、障害を最小限に食い止めるため、初期の対応について学ぶ必要性と、予防の重要性をあらためて再認識しています。

日時：平成28年9月24日（土）

13：30～15：30

場所：市立大町総合病院 南棟講堂

講師：市立大町総合病院副院長 脳神経外科部長

青木 俊樹 先生

参加費：会員 500円 一般 1000円

申し込み方法：一般の方は、下記担当まで直接お申し込みください。

会員の方は、別紙に部署ごとにとりまとめのうえ看護協会宛にFAXでお申し込みください。締め切りは9月10日（土）です。

一般の方は、当日参加も可能です

担当：市立大町総合病院 TEL 0261-22-0415（代）

酒井 陽子

大町市役所 TEL 0261-22-0420（代）

諸角 あゆみ（内線）475

公益社団法人 長野県看護協会大町支部